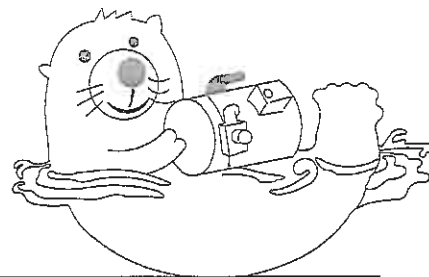


KYOWA JET CLEANER

キョーワ洗浄ポンプ



取扱説明書

KYC-408

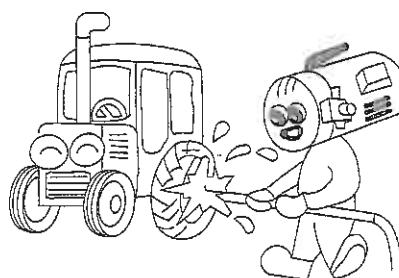
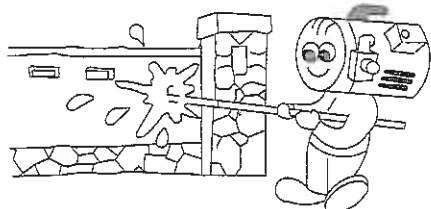
このたびは、当社製品KYC-408をお買い上げ頂きありがとうございます。

製品がお手元に届きましたら直ちに次の点を確認してください。

- ・機種は、ご注文通りのものか・・・・・・・・
- ・輸送の事故で、破損していないかどうか・・・・・・・・
- ・付属品が全部そろっているかどうか・・・・・・・・

もし、不具合な点がありましたら、ご注文先、又は弊社営業所へお知らせください。

ご使用前には必ずお読みください。



未来の技術を拓く世界の



株式会社 キョーワ

本社・工場 大阪市鶴見区緑1丁目17番15号
〒538-0054

Tel (06)-6933-8585(代)

Fax (06)-6931-7030 番

東京営業所 東京都大田区馬込2丁目19-5
〒143-0022

Tel (03)-5743-6001 番

Fax (03)-3771-7779 番

九州キョーワ
〒811-1361

南九州キョーワ
〒891-0105

福岡市南区西長住2-19-5
Tel (092)-512-5304 番

Fax (092)-512-1599 番

鹿児島市中山町2-19-1

Tel (0992)-60-1220 番

Fax (0992)-60-0084 番

(目次)

・ 安全上の注意	1
・ 作業前の注意事項及び服装	2
・ 梱包部品の内容及び仕様	3
・ 各部の名前と付属品・ノズルの使用方法	4
・ 運転準備	5
・ 運 転	5
・ 作業開始	5
・ 不調診断と対策	6
・ 不調時の対策（抜粋）	7
・ パーツリスト(KYC-408)	8



1.2 作業前にこれだけは守りましょう

①心身共に健康ですか。こんな人は作業してはいけません。

(作業に神経を集中できる体質でないときはしません。)

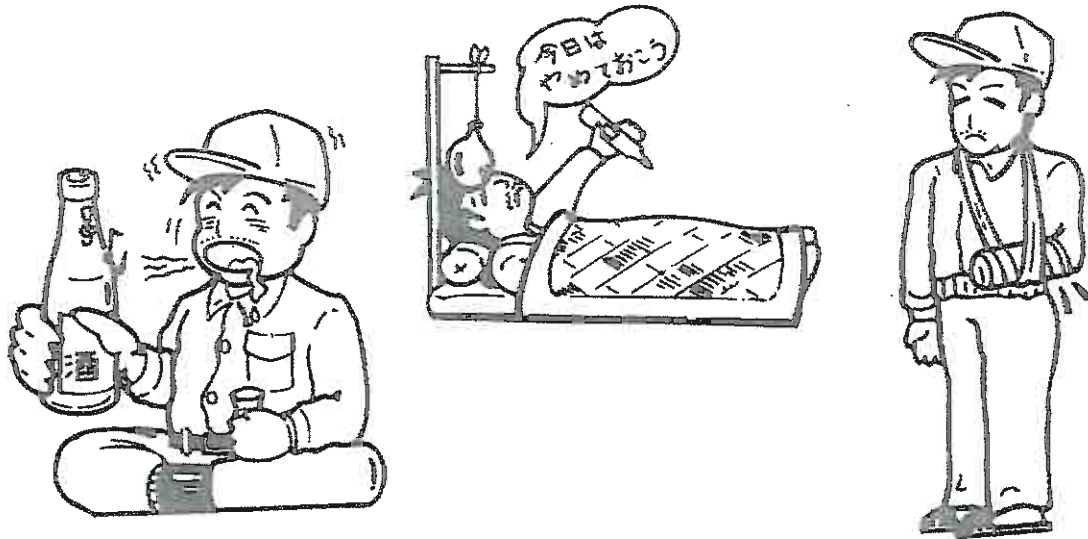
◎酒気を帯びた人

◎妊娠している人

◎15歳未満の人

◎負傷中の人

◎過労、病気、農薬を含む薬物の影響、その他の理由により、正常な作業ができない人



②作業に適した服装をします。

身体にあったものを
着用する散布作業者

こんな服装は事故の
原因になります。

禁止

帽子

保護メガネ

保護マスク

耳栓 (騒音作業)

保護衣
(袖口スッキリ)

保護ゴム手袋

作業靴
(長靴)



くわえタバコ
首まきタオル

袖口

す手

腰タオル

すそ

す足

サンダル

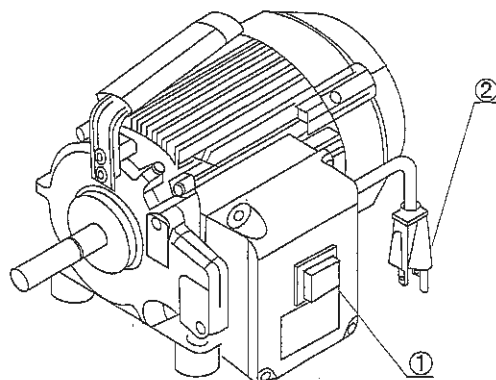
保護具はつねに正常な機能を有するよう、点検・整備を行い、正しく使用してください。

騒音が大きい場合はイヤマフ又は耳栓を着用します。

モーターの「ON」－「OFF」スイッチ

電圧検出式

- ① 電源スイッチ
- ② 電源プラグ



梱包部品の内容

梱包コンテナ内の部品は次の通りです。

1	ポンプ (モーター直結型)	1
2	吸水ホース	1
3	オーバーフローホース	1
4	ストレーナー	1
5	高圧ホース	1
6	ノズル1式 KYC-408=U-レバーコック	1
7	梱包コンテナ (水槽兼用)	1

仕様

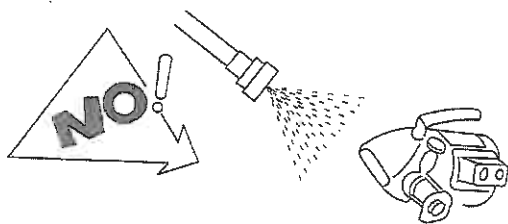
型式	項目	最高圧力	シリンダ径×ストローク	シリンダ数	回転数 min ⁻¹	吸水量L/min	定格電圧	定格電流
KYC-408		3.4 MPa (35Kgf/cm ²)	φ25×4mm	2	50 Hz	1450 (rpm)	AC 100V	9.6A
					60 Hz	1740 (rpm)		7.0

1.1.安全上の注意事項 **必ずお守りください。**

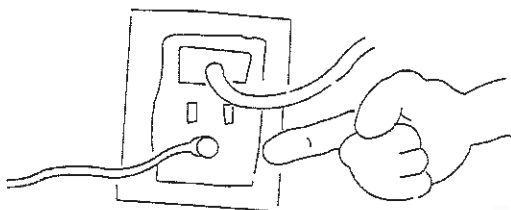
組みつけの時



- 水のかかるところに置かないでください。
感電や漏電の原因になります。



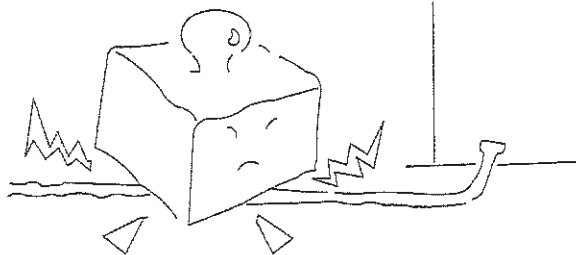
- 感電事故防止のため、アース線の接続をしてください。



- この機械は交流100V専用です。
交流200Vは絶対に使用しないでください。



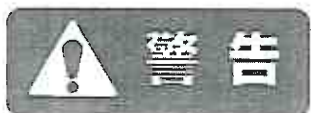
- 電源コードを傷つけたり、無理な力を加えないでください。
電源コードが破損すると、火災や感電の原因になります。



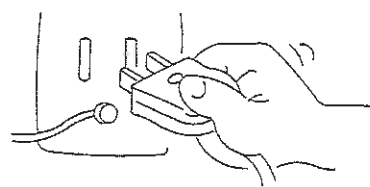
使用する時



- 本体に水をかけないでください。
漏電や火災になる恐れがあります。



- 長期間使用しないときやお手入れのときは、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず、先端の電源プラグを持って抜いてください。
電源コードが傷み、感電や火災の原因になります。



- 修理技術者以外の方は分解しないでください。
火災・感電・ケガの原因になります。



2. 警告表示ラベルの内容

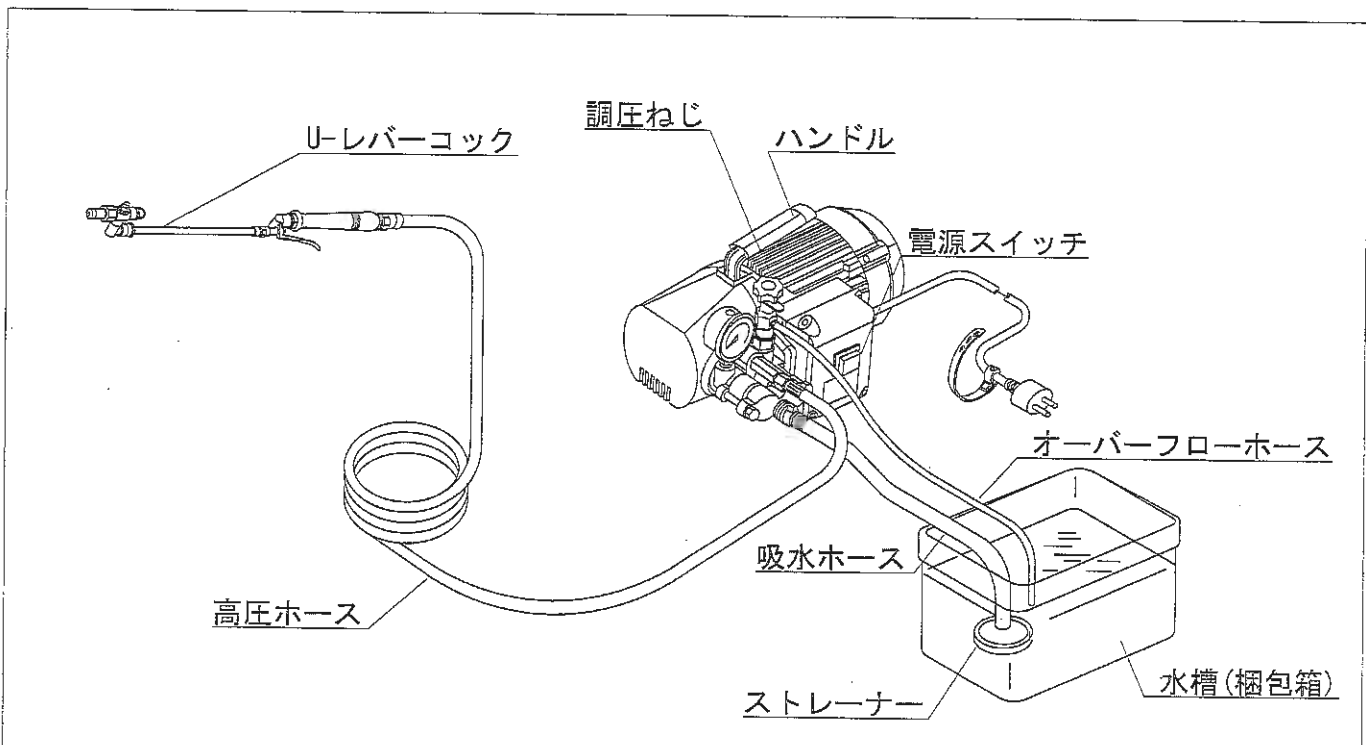
警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはご購入先に注文してください。

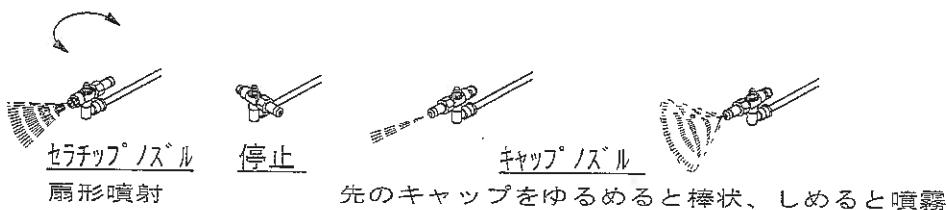
⚠ 警告	
1.	電源接続前には、体が濡れていない又は、濡っていないことを確認して下さい。
2.	電源プラグは水から離れた場所で接続して下さい。
3.	電源を入れる前に必ずアースを接続して下さい。
4.	電工ドラムなどを使用する場合は電圧が低下することがあります。
5.	調圧ネジを緩めてから電源スイッチを入れて下さい。
6.	名板に記入されている最高圧力以上で使用しないで下さい。
7.	空運転をしないで下さい。シール部品の劣化を早め、保証ができません。
8.	薬品使用後は、清水にて数分間運転して下さい。
9.	ポンプから異音が生じたり、モーターが異常に熱い場合は直ぐに運転を停止して下さい。

警告ラベル

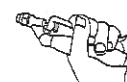
2-1. 各部のなまえと付属品 (KYC-408)



Uレバーコックの説明



閉める



開く

3 運転準備

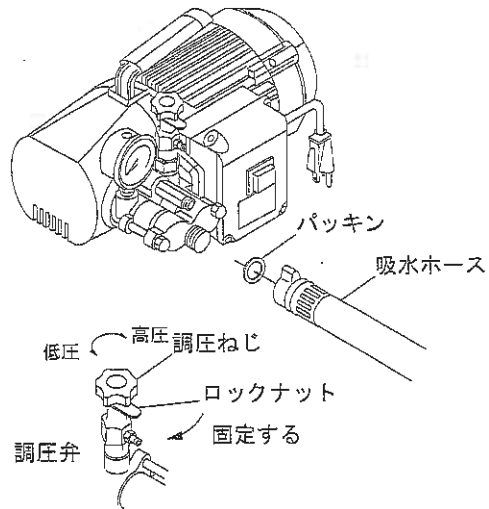
1. 吸水ホース、オーバーフローホース、高圧ホースを取り付けます。（4ページの説明図参照）

吸水ホース、高圧ホースはパッキンの有無を確認の上、水漏れや空気を吸わないよう確実に締め付けてください。

オーバーフローホースは接続部に差込みます。

高圧ホースの先にノズルをとりつけます。

2. ロックナットをゆるめて調圧ねじをゆるめ、確実にロックナットで固定します。（始動時にポンプが即座に加圧しないようにするための作業です）又、加圧していますとモーターが始動しないときがあります。
 3. 吸水ホース（ストレーナー付）及びオーバーフローホースを水槽にいれます。両ホースをバンド等で固定してください。
 4. 水槽はきれいにし、且つ使用水は清水を入れてください。
 5. 電源コードをコンセントに差し込み、必ずアースを接続してください。
- パイロットランプの点灯により通電が確認できます。



注意

- ・延長コード等をご使用のときは、電圧が低下します。モーターが焼損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・圧力を下げて使用するか、主要諸元の定格に合った延長コードをご使用ください。

6. 雨または噴霧、洗浄水の飛散がかからない場所に本機を設置してください。

4 運転

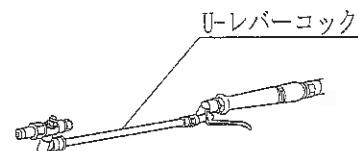
1. ノズルのレバー部を開にするか又はボールバルブを開にしてノズルを手でしっかり持ちます。調圧ねじのゆるみを確認の上、スイッチを「ON」にして始動します。加圧状態にして始動しないこと。（モーター焼損防止のため特に注意してください）
2. ポンプを運転してオーバーフローホースより水が水槽へ戻ることを確認します。戻らない場合は、スイッチを「OFF」にします。（ポンプの空運転はさけること）不調診断を見て対応してください。
3. ノズルの握り部を閉じて又はボールバルブを閉にして、調圧ねじを右に廻し圧力を設定します。圧力が定まりましたら、ロックナットにて調圧ねじをロックします。

注意

- 加圧状態にて始動しないでください。
- スイッチを入れるときは必ず調圧ねじをゆるめてください。

作業開始

1. ノズルのレバー部又はボールバルブを開きます。
水は勢いよく噴出されこのエネルギーを利用して洗浄又は噴霧作業を行います。
ノズルの使用方法は、4ページのノズルの説明の項を参照願います。



作業終了

1. 吸水ストレーナーを空気中に上げ、ホース・ノズル・ポンプ内の水抜きをします。冬季の凍結防止のために実施します。
2. ポンプの手入れをして次回の作業が円滑にできるよう整備、清掃を行います。

注意

1. 清水又は使用液に微粒子の混入の無いようご注意ください。圧力が上がらなくなります。
2. 冬季の凍結に注意してください。

5. 不調診断と対策

◎印は、使用される方が行ってください。(7ページ参照)

対策 項目の

●印は、お買い上げになった販売店、又は修理技術のある方が行ってください。

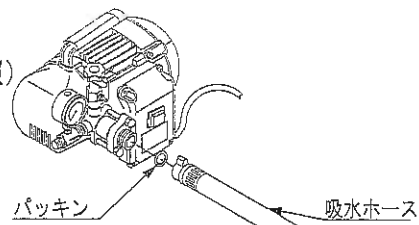
状 況	原 因	対 策
(1) 水をすわな い	イ. 吸水ホースの締付不完全かパッキン の脱落 ロ. 吸吐水弁の固着 ハ. 空運転したためシリンダー内が加圧 され吸水しない ニ. ストレーナーの全面にゴミが付着し ている ホ. 水槽水面位がポンプ位置から低過ぎ る(吸水ホースを継足した場合等)	◎ イ. パッキンを入れ、しっかり締める ◎ ロ. モーター上部の注意ステッカー参照 水道水をポンプの吸水口と直結して 水圧水を送入する。 ◎ ハ. 調圧ねじをゆるめるか高圧ホースを 外して余分のエアを排出させて水 が出るのを待つ ◎ ニ. ストレーナーを清水にて洗浄するこ と ◎ ホ. 水槽位置を上げるかポンプを一旦さ げてください
(2) 圧力が上が らない	イ. 調圧弁の不調 ロ. 弁にゴミが付着している ハ. ピストンパッキン又はシリンダーが 摩耗している ニ. ノズルの穴が摩耗して大きくなって いる	● イ. 分解して点検 弁及び弁シートが傷んでいれば交換 ● ロ. 分解してゴミを除去する ● ハ. 分解して交換する ◎ ニ. 適合した穴径のノズルと交換する
(3) 圧力が変動 する(吸水ホ ース高圧ホー ス等が大きく 振動する)	イ. 空気を吸っている ロ. 弁又は弁シートに傷があるかゴミが 付着している ハ. 調圧弁の弁及び弁シートにゴミがつ まる又は傷んでいる	◎ イ. 吸水ホースをしっかり締め付ける (パッキンの有無を確認) ● ロ. 吸水弁、吐水弁の点検、掃除及び交 換 ● ハ. 掃除及び交換する
(4) 圧力が途中 で低下し復元 しない、ホー スが振動する	イ. 吸水していない(ストレーナーにゴ ミが付着している) ロ. 調圧弁の不調 ハ. 水槽内の水が不足している	◎ イ. ストレーナーの網の目の掃除をする ● ロ. 調圧弁の分解掃除をする ◎ ハ. 水を補給してください
(5) モーターが 始動しない	イ. 配線時の接続不良 ロ. パイロットランプが点灯していない ハ. コンセント不良 ニ. 制限圧力以上になっている ホ. 電源電圧の低下 ヘ. モーターが、ポンプに異常負荷がか かかって保護器が働いて電流をスト ップした (注) この場合は必ず電源のコンセ ントを一旦外してください	● イ. スイッチ及び電源コンセントの結線 点検 ● ロ. 接続部の点検、ランプの点検 ◎ ハ. 別のコンセントにてテストを試みる ◎ ニ. 圧力調節ねじをゆるめる 5ページの運転準備2項を参 照してください ● ホ. 5ページの注意事項を参照し てください ● ヘ. 過負荷保護器が働いたらスイッチを OFFにして原因を取り除きモータ ーの熱が冷めてからスイッチをオン にして下さい

不調時の対策 (抜粋)

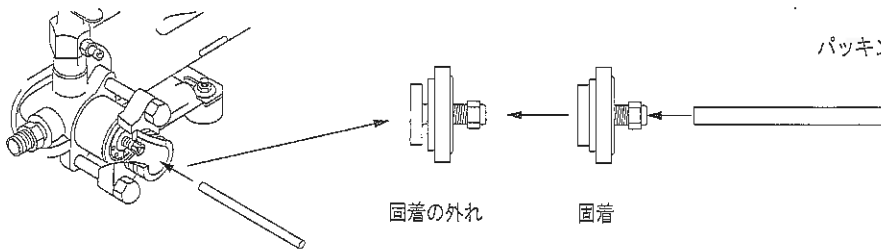
(イ) 吸水ホースの締め付け不完全かパッキンの脱落 (右図参照)

(ロ) 吸吐水弁の固着

- 1) 木またはプラスチックの棒状のものでポンプの吸水口から、吸水弁を押して吸水弁の固着を外す。(208のみ)

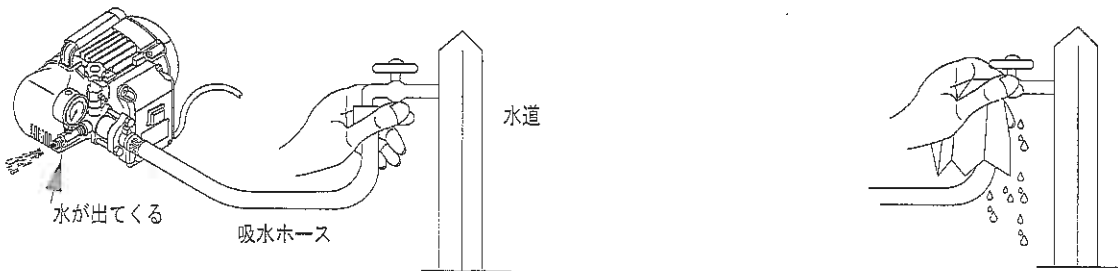


パッキンの有無を確認の上、しっかり締める。



- 2) 吸水ホースのストレーナーを外して水道につなぎ、手で押さえポンプのスイッチを入れて水を出しながら運転して水道水の圧力で吸水弁の固着を外す。

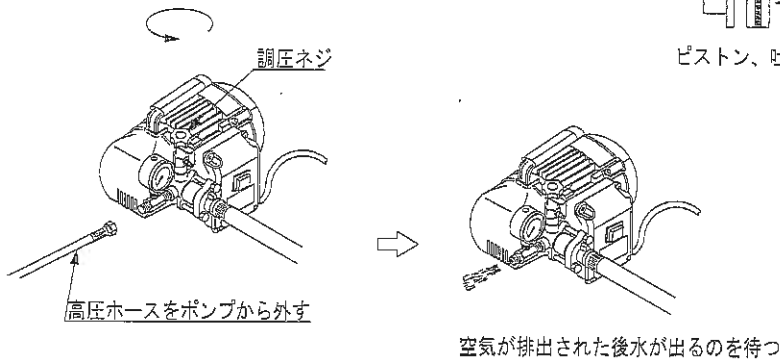
水道との接続部から水が漏れるとき布等で押さえる。



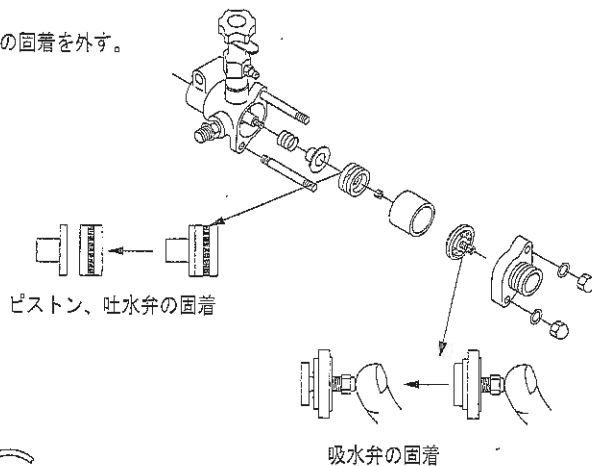
- 3) 右下のようにポンプを分解し、吸水弁及びピストン・吐水弁の固着を外す。固着部が外れたら、元のように組み立てる。

(ハ) 空運転したためシリンダー内が加圧され吸水しない

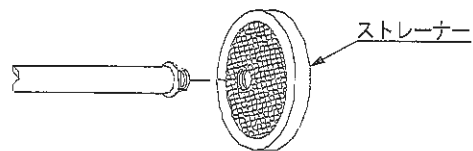
調圧ネジをゆるめる



空気が排出された後水が出るのを待つ



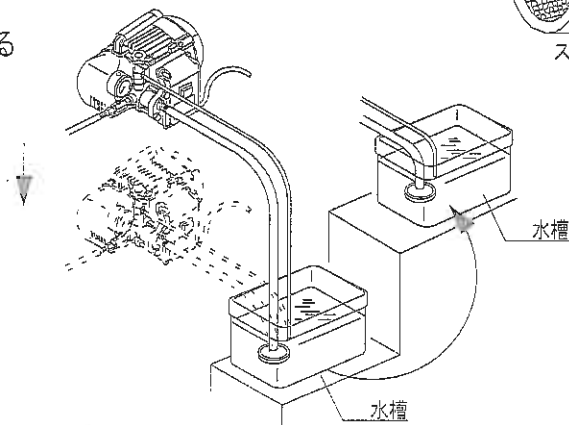
(ニ) ストレーナーの全面にゴミ、水アカ等が付着している



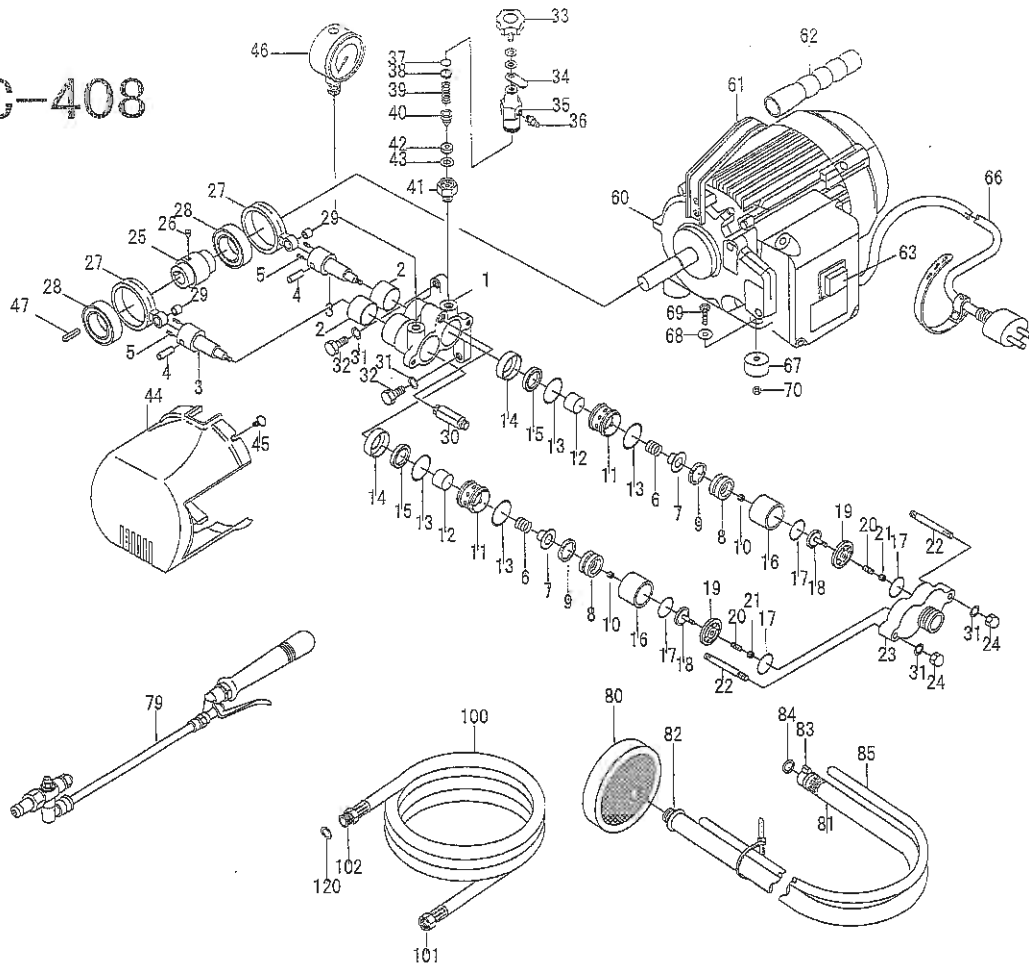
ストレーナーを清水で洗浄する

(ホ) 水槽水面がポンプ位置から低すぎる

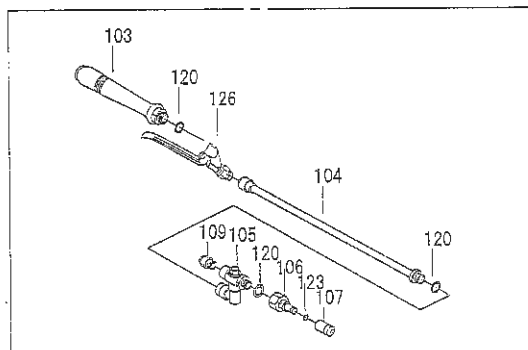
水槽位置を上げるかポンプを一旦下げて下さい



KYC-408



U-レバーコック詳細



図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数
1	吐水口	1	22	スタッドボルト	2	43	シートパッキン	1	U-レバーコック	1	
2	ブッシュ (大)	2	23	吸水口	1	44	ポンプカバー	1	103	ハンドル	1
3	プランジャー	2	24	袋ナット	2	45	ボルト	1	104	パイプ	1
4	ピン	2	25	偏芯カラー	1	46	圧力計 50φ x 7Mpa	1	105	本体	1
5	ピン締付けボルト	4	26	ボルト	1	47	キー	1	106	バル台	1
6	スプリング	2	27	コンロッド	2	60	モーター 100V-400W	1	107	自在バルキャップ	1
7	吐水弁	2	28	ボールベアリング	2	61	ハンドル	1	109	#1556 扇形テップ	1
8	ピストン	2	29	ブッシュメタル	2	62	ハンドルカバー	1	123	O-リング (P-6)	1
9	ピストンパッキン	2	30	吐水長ニップル	1	63	ロッカースイッチ	1	126	レバーコック	1
10	U-ナット MG	2	31	パネ座金	4	66	電源コード	1			
11	ガイドリング	2	32	ボルト	2	67-70	防振ゴムセット	4			
12	ブッシュ (小)	2	33	調圧ネジ	1	75	水槽	1			
13	O-リング (S-28)	4	34	ロックナット	1	76	水槽フタ	1			
14	スペーサー	2	35	本体	1	79	U-レバーコック	1			
15	U-パッキン	2	36	ホースジョイント	1	80	ストレナー	1			
16	シリンダー	2	37	O-リング (P-7)	1	81-84	吸水ホース	1			
17	O-リング (S-25)	4	38	パネ押さえ	1	85	オーバーホース	1			
18	吸水弁	2	39	スプリング	1	100	高圧ホース	1			
19	吸水弁座	2	40	バルブ	1	101	ホース締ぎ手 (小)	1			
20	スプリング	2	41	調圧弁取付金具	1	102	ホース締ぎ手 (大)	1			
21	U-ナット	2	42	バルブシート	1	120	パッキン (大)	4			

5. 不調診断と対策

- ◎印は、使用される方が行ってください。(7ページ参照)
- 印は、お買い上げになった販売店、又は修理技術のある方が行ってください。

状 況	原 因	対 策
(1) 水をすわない	イ. 吸水ホースの締付不完全かパッキンの脱落 ロ. 吸吐水弁の固着 ハ. 空運転したためシリンダー内が加圧され吸水しない ニ. ストレーナーの全面にゴミが付着している ホ. 水槽水面位がポンプ位置から低過ぎる(吸水ホースを継足した場合等)	◎ イ. パッキンを入れ、しっかり締める ◎ ロ. モーター上部の注意ステッカー参照 水道水をポンプの吸水口と直結して水圧水を送入する。 ◎ ハ. 調圧ねじをゆるめるか高圧ホースを外して余分のエアを排出させて水が出るのを待つ ◎ ニ. ストレーナーを清水にて洗浄すること ◎ ホ. 水槽位置を上げるかポンプを一旦さげてください
(2) 圧力が上がらない	イ. 調圧弁の不調 ロ. 弁にゴミが付着している ハ. ピストンパッキン又はシリンダーが摩耗している ニ. ノズルの穴が摩耗して大きくなっている	● イ. 分解して点検 弁及び弁シートが傷んでいれば交換 ● ロ. 分解してゴミを除去する ● ハ. 分解して交換する ◎ ニ. 適合した穴径のノズルと交換する
(3) 圧力が変動する(吸水ホース高圧ホース等が大きく振動する)	イ. 空気を吸っている ロ. 弁又は弁シートに傷があるかゴミが付着している ハ. 調圧弁の弁及び弁シートにゴミがつまる又は傷んでいる	◎ イ. 吸水ホースをしっかり締め付ける(パッキンの有無を確認) ● ロ. 吸水弁、吐水弁の点検、掃除及び交換 ● ハ. 掃除及び交換する
(4) 圧力が途中で低下し復元しない、ホースが振動する	イ. 吸水していない(ストレーナーにゴミが付着している) ロ. 調圧弁の不調 ハ. 水槽内の水が不足している	◎ イ. ストレーナーの網の目の掃除をする ● ロ. 調圧弁の分解掃除をする ◎ ハ. 水を補給してください
(5) モーターが始動しない	イ. 配線時の接続不良 ロ. パイロットランプが点灯していない ハ. コンセント不良 ニ. 制限圧力以上になっている ホ. 電源電圧の低下 ヘ. モーターが、ポンプに異常負荷がかかって保護器が働いて電流をストップした (注) この場合は必ず電源のコンセントを一旦外してください	● イ. スイッチ及び電源コンセントの結線点検 ● ロ. 接続部の点検、ランプの点検 ◎ ハ. 別のコンセントにてテストを試みる ◎ ニ. 圧力調節ねじをゆるめる 5ページの運転準備2項を参照してください ● ホ. 5ページの注意事項を参照してください ● ヘ. 過負荷保護器が働いたらスイッチをOFFにして原因を取り除きモーターの熱が冷めてからスイッチをオンにして下さい

保証書

型式 KYC-408

機械番号

ご購入日

お客様	お名前	
	住所	〒
	電話番号	— —

販売店	お名前	
	住所	〒
	電話番号	— —

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1ヵ年または200使用時間の内どちらか短い方とします。ただし本製品の保証は日本国内で使用される場合においてのみ有効です。
- 保証期間中に故障、損傷が発生した場合は、製品と本書をご持参、提示の上お買い上げ販売店・弊社及び営業所にご依頼ください。
- 保証期間中、正常な使用状態において万一故障・損傷が生じた場合は、これを無償修理いたします。無償修理は部品の交換あるいは補修により行い、原則として本機の新品交換は致しません。
- 保証期間内でも次の場合は、保証の対象外で有償修理となります。
 - ・保証書の提示が無い場合。
 - ・保証書の所定事項の未記入あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ・取扱説明書に記載してある適正な使用手順及び保守点検を怠った場合。または本機の仕様を越えた使用や改造などによる故障や損傷の場合。
 - ・消耗品（オイルシール、Vパッキン、Oリング、その他パッキン類など）が磨耗して取替えが必要な場合。
 - ・時の経過による変化で発生した不具合（塗装面、メッキ面などの自然退色や油類の劣化等）の場合。
 - ・一般に品質機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみなど）
 - ・火災、公害、地震、風水害その他天災、地変などの災害及び不可抗力による故障、損傷の場合。

株式会社 キョーワ